

小 学 校

言 語 活 動

ハ ン ド

ブ ツ ク

山 梨 県 教 育 委 員 会

この本を使うみなさんへ

「このハンドブックで読み、書き、聞き、話す力を伸ばそう」

社会生活にいきる言語活動推進事業

読解力向上のための言語活動推進協議会 委員長

山梨大学教育人間科学部教授 岩永 正史

上手に学び、学んだことをしっかり身につけるために、読み、書き、聞き、話す力を伸ばすことは、とても大切なことです。

読み、書き、聞き、話す力は、どんな教科の勉強をするときにも重要です。国語をはじめ、社会科、算数、理科など、さまざまな教科の勉強で、教科書や参考書を「読む」ことは欠かせません。統計資料や実験・観察から、わかったことを的確にまとめるには、「書く力」が重要です。「話し合っ」考えを深めるときには、わかりやすく「話す力」が大切ですが、同時に「聞く力」もはたらいっていますね。

では、こうした力は、どこで伸ばしているのでしょうか。真っ先に思い浮かぶのは、国語の時間です。しかし、国語の時間には、たとえば「大造じいさんとガン」や「天気を予想する」を読むときには、「どんな内容の文章か」ということに注意が向いてしまい、「読む力を伸ばしている」ことを意識しにくくなるのではないのでしょうか。

そこで、このハンドブックは、ふだん、みなさんが「意識しにくい」読み、書き、聞き、話す力を伸ばすために作りました。「読み、書き、聞き、話すとき、どんなことに気をつけると、上手にできるのだろう」、そんなヒントが、ここにはたくさん書かれています。

授業のとき、家で勉強するとき、傍らに置いて、使ってください。

(この文章は、6年生のみなさんへのメッセージです。読めない漢字、意味がわからない言葉があったら、辞書を引きましょう。それも、言葉の力をのばす大切な方法の一つです。)

言語活動ハンドブック 目次

この本を使うみなさんへ	P. 1
この本の使い方	P. 4

【話す・聞く】

(説明・報告・紹介・しょうかい推薦・すいせん質問・意見・感想・資料の活用)

■ 話す前の準備は

- ①相手や目的を意識しよう P. 8
- ③情報を集めて関係づけよう P. 12

■ わかりやすく話すには

- ④資料を活用しよう P. 14
- ⑤順序立てよう P. 16
- ⑥筋道すじみちを立てよう P. 18

■ 上手に話すには

- ②言葉づかいや話し方を意識しよう P. 10

■ 上手に聞くには

- ⑨話し手の意図をとらえて聞こう P. 24

【話し合う】

(話し合い・たうろん討論・質問・意見)

■ 上手に話し合うには

- ①相手や目的を意識しよう P. 8
- ②言葉づかいや話し方を意識しよう P. 10
- ⑩立場や意図をはっきりさせて話し合おう P. 26

■ 質問や意見を言うには

- ⑨話し手の意図をとらえて聞こう P. 24

【書く】

(説明・記録・報告・紹介・しょうかい推薦・すいせん意見・感想・手紙・資料の活用)

■ 書く前の準備は

- ①相手や目的を意識しよう …………… P. 8
- ③情報を集めて関係づけよう …………… P. 12

■ わかりやすく書くには

- ④資料を活用しよう …………… P. 14
- ⑤順序立てよう …………… P. 16
- ⑥筋道すじみちを立てよう …………… P. 18
- ⑦段落だんらくの役割やくわりや関係を意識しよう …………… P. 20
- ⑫推敲すいこうしよう …………… P. 30

■ 手紙を書くには

- ①相手や目的を意識しよう …………… P. 8
- ⑪手紙を書こう …………… P. 28

【読む】

(意見・感想・資料の活用)

■ 読んで内容をとらえるには

- ⑦段落だんらくの役割やくわりや関係を意識しよう …………… P. 20

■ 読んで自分の思いや考えをまとめるには

- ④資料を活用しよう …………… P. 14
- ⑧自分の知識や経験と結びつけよう …………… P. 22

この本の使い方

言語活動を充実させるための12のヒント

「話す」「聞く」「書く」「読む」— いろいろな教科の授業の中で、また日常生活の中で、みなさんは言葉を使ってさまざまな活動をしています。これを言語活動といいます。この本では、言語活動をよりよくし、みなさんの考える力や表現する力を高めるためのヒントをまとめました。

- ① 相手や目的を意識しよう
- ② 言葉づかいや話し方を意識しよう
- ③ 情報を集めて関連づけよう
- ④ 資料を活用しよう
- ⑤ 順序立てよう
- ⑥ 筋道を立てよう
- ⑦ 段落の役割や関係を意識しよう
- ⑧ 自分の知識や経験と結び付けよう
- ⑨ 話し手の意図をとらえて聞こう
- ⑩ 立場や意図をはっきりさせて話し合おう
- ⑪ 手紙を書こう
- ⑫ 推敲しよう

⑤ 順序立てよう

① 順序立てるとは…?

1 「順序」には、次のようなものがあります

- ・行動したこと、経験したことの順序
- ・物を作ったり、作業したりする順序
- ・物事が起こった順序
- ・説明したり、紹介したりする順序

2 どういう順序で並べるの?

- ・時間によって並べます。

自分が行動したり、経験したりした順、出来事が起こった順などに注意しながら話したり、書いたりするんだよ。



- ・事柄によって並べます。

作り方や作業の内容を説明するとき、材料や道具といった必要な物、手順や使い方、注意することなどの事柄に分けて説明するとわかりやすいよ。



- ・並べるときは—

順序立てて書くと、自分の伝えたいことが、より明確になります。また、整理されることで、相手の頭の中にも入りやすくなります。より明確でわかりやすい内容にするためには「はじめ—中—おわり」などを参考に、内容のまとまりを、いくつかに分けて並べることがポイントです。



② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

① の段落の役割や関係を整理しよう

16

各ページの見方

この本は、「言語活動を充実させるための12のヒント」それぞれについて、見開き2ページで、構成されています。

タイトル＝言語活動を充実させる12のヒントの一つです。

①-⑫

「～とは…?」

左側のページは、12の「ヒント」それぞれについての知識や意味など基本的なことを説明しています。

D_D

「覚えておこう」には、

それぞれの「ヒント」に関して、覚えておいてほしい大事なことが書いてあります。



このページと関連する他の「ヒント」の番号とタイトルを示しています。あわせて、見てみましょう。



「こんなときに役立ちます!」

右側のページは、それぞれの「ヒント」と、授業や日常生活の中の具体的な言語活動とのつながりについて、例をあげて説明しています。いろいろな場面で、活用してみましょう。

「『ザ・読解力』にチャレンジ」

『ザ・読解力』の関連課題を示しました。チャレンジして読解力をレベルアップさせましょう。

① こんなときに役立ちます!

説明 記録 報告 紹介 推薦 意見

いろいろな場面で、「順序立てる」ことを意識しましょう。

例えば…

① たてわり活動で取り組む「遊び」の説明をする。(同じ組の1～5年生に)

<p>① たてわり活動で取り組む「遊び」の説明をする。(同じ組の1～5年生に)</p>	<p>② 児童集会で、活動方針を説明する。(全校児童に)</p>	<p>③ 理科の「実験や観察の記録・結果」を書く。(他の近の友人)</p>
---	----------------------------------	---------------------------------------



④ クラブ紹介で、1年間の様子を紹介する。(3年生以下の人に)

<p>④ クラブ紹介で、1年間の様子を紹介する。(3年生以下の人に)</p>	<p>⑤ 順序立てるときは、どうしたら相手にわかりやすいか、相手の心に響くかを考えて、並べます。何ぞという順序で並べると、より効果的な伝え方や順序になるかを考えましょう。</p>	<p>⑥ ザ・読解力にチャレンジ</p>
--	---	----------------------



⑤ 理科の「実験や観察の記録・結果」を書く。(他の近の友人)

⑥ クラブ紹介で、1年間の様子を紹介する。(3年生以下の人に)

順序立てるときは、どうしたら相手にわかりやすいか、相手の心に響くかを考えて、並べます。何ぞという順序で並べると、より効果的な伝え方や順序になるかを考えましょう。

ザ・読解力にチャレンジ

【1】 読み聞かせの記録シートを完成させよう。

【2】 読み聞かせの記録シートを完成させよう。

【3】 読み聞かせの記録シートを完成させよう。

【4】 読み聞かせの記録シートを完成させよう。

【5】 読み聞かせの記録シートを完成させよう。

【6】 読み聞かせの記録シートを完成させよう。

【7】 読み聞かせの記録シートを完成させよう。

【8】 読み聞かせの記録シートを完成させよう。

【9】 読み聞かせの記録シートを完成させよう。

【10】 読み聞かせの記録シートを完成させよう。

【11】 読み聞かせの記録シートを完成させよう。

【12】 読み聞かせの記録シートを完成させよう。

15

『言語活動ハンドブック』の使い方の例



今度、交通安全教室で、全校のみんなの前で自転車の安全な乗り方について説明することになったんだけど…、どうすればいいかなあ。

みんなの前で説明するんだから、『言語活動ハンドブック』の目次の【話す】のページを見てみようよ。



【話す・聞く】 (説明・報告・紹介・推薦・質問・意見・感想・資料の活用)

■ 話す前の準備は

- ①相手や目的を意識しよう …………… P. 8
- ③情報を集めて関係づけよう …………… P. 12

■ わかりやすく話すには

- ④資料を活用しよう …………… P. 14
- ⑤順序立てよう …………… P. 16
- ⑥筋道を立てよう …………… P. 18

■ 上手に話すには

- ②言葉づかいや話し方を意識しよう …………… P. 10

■ 上手に聞くには

- ⑨話し手の意図をとらえて聞こう …………… P. 24

この本の目次は、
【話す・聞く】
【話し合う】
【書く】
【読む】

の4つの活動ごとに関連するページを示しています。「どんな活動をするのか」で必要なページをさがし探しましょう。



みんなにわかりやすく説明するには…

14ページの「④資料を活用しよう」や16ページの「⑤順序立てよう」、18ページの「⑥筋道を立てよう」を見ればいいのか。

では、まず14ページの「④資料を活用しよう」を見てみよう。

④ 資料を活用しよう

1.1 資料を活用するとは…？

1 活用するってどうするの？

引用する：他の人が作った図やグラフ、話した言葉・書いた文章などを、資料や本などからそのままの形で抜き出して使う。

自分で作る：内容に合った図や表、写真、絵など、自分で資料を作って使う。

① ② ③ 情報を集めて関連づけよう

2 活用するときに気をつけること



インターネットなどの普及で、色々な資料がすぐ手に入るようになったね。でも、他の人が書いた文章などを、自分が書いたかのように使ってしまうことが問題になっているよ。出所を明らかにして使うようしようね。

1.2 覚えておこう〈引用するときのポイント〉

引用した部分には「」をつける

著者名
(書いた人の名前)を明らかにする

参考資料として出版社・発行年・巻名・URLなどを書いておく

3 資料を活用すると・・・

具体的になる！

・形や数、変化の様子などを具体的に示すことができます。

どんな資料を使えば、自分の考えがうまく伝わるのかを考えて、資料を選ぼう。

説得力が増す！

・考えのよりどころがはっきりします。

④ 筋道を立てよう

14



なるほど。資料を活用すると、根拠が具体的になって、説得力が増すんだね。



自転車の事故がどれだけたくさん起こっているか調べてみようよ。実際の数グラフで表して、それを示しながら説明すれば、みんなに納得してもらえようだよ。



すじみち

⑤ 筋道を立てよう のページも見てみよう。

ほかにもヒントがありそうだよ。



なるほど。資料をこんなふうに示しながら説明するといいんだね。早速、調べてみようよ。

⑤ こんなときに役立ちます！

資料の活用 説明 記録 報告 紹介

推薦 感想 意見 話し合い・討論

資料を効果的に活用しましょう。

○総合的な学習の時間で「地球の環境」について調べたことや考えたことを発表する。(表やグラフの引用)



左のグラフを見て下さい。これは二酸化炭素濃度の増加と地球気温の上昇を表したグラフです。

地球温暖化について調べてわかったことを発表します。



① 相手や目的を意識しよう

??

相手や目的を意識するとは…?

自分が「話したいこと」「書きたいこと」とともに、「相手」(＝だれに伝えるのか)や、「目的」(＝何のために伝えるのか)によって題材や話し方、書き方を考え、工夫くふうすることが大切です。

例えば…

- ・低学年の相手に説明したり書いたりするとき…



むずかしい言葉は、やさしい言葉を使って言い換えて、ゆっくりははっきり話します。順序よく説明します。

②言葉づかいや話し方を意識しよう

むずかしい言葉は、やさしい言葉を使って書き換えたり、習っていない漢字はひらがなに直したり、ふりがなをつけたりします。

- ・改まった場面で話すとき…



ていねいな言葉や敬語けいごを使って話します。あいさつや前置きをすることもあります。

②言葉づかいや話し方を意識しよう

- ・相手を説得するとき…

聞き手を見て、間の取り方を工夫くふうしたり、言葉に抑揚よくようや強弱をつけたりして話します。具体例や根拠こんきょをあげて、理由を明らかにして話します。

⑥筋道すじみちを立てよう ⑩立場や意図をはっきりさせて話し合おう



- ・親しい相手に、手紙を書くとき…

親しみをこめて、やさしい言葉づかいで書きます。

⑪手紙を書こう



こんなときに役立ちます！

説明

記録

報告

しょう かい
紹介

すい せん
推薦

感想

意見

質問

手紙

とう ろん
話し合い・討論

いろいろな場面で「相手」や「目的」を意識しましょう。

例えば…

○クラスの友だちに朝の会で「最近うれしかったできごと」を紹介する。

次の2つの話題を思いつき、どちらを選ぼうか、迷っています。



どちらを選んだらいいかな？

A 私がうれしかったことは、運動会で優勝したことです。どうしてかということ、と中までわたしのチームは負けていたのに、最後のリレーで逆転したからです。あきらめずに、力を合わせて最後までがんばったので、アンカーが1位でゴールした時はとても感動しました。……

B 私がうれしかったことは、1さいの妹が初めてしゃべったことです。夕ご飯の後、家族で写真を見ながら話していたら、妹が写真を指さして「これは（何）？」と言いました。私は妹が初めて意味のある言葉をしゃべったのを聞きました。それに、妹が写真にいたずらしようとしたと思ったのに、話の仲間に入りたかったんだとわかってうれしくなりました。……

Aの「運動会で優勝したこと」は、クラスの友達もよく知っているから、共感してくれる人がいるかもしれないね。

Bの「妹が初めてしゃべったこと」は初めて聞く人が多いから、興味をもって聞いてくれる友達が多いかもしれないね。

自分が「話したい」という気持ちも大事だけど、相手や目的を意識して話題や話し方を選ぶことも大切だね。



② 言葉づかいや話し方を意識しよう

?_?

言葉づかいや話し方を意識するとは…?

どういう言葉づかいや話し方をすればいいの？

自分の言いたいことを伝えるために、相手のことを意識した話し方をすることです。

- ・「だれに」, 「どういう場面で」話すかによって、言葉づかいを変えましょう。
 - 目上の人に話すとき、あらたまった場で話すときには、ていねいな言い方をしましょう。
 - 敬語を使うことも考えましょう。
- ・言いたいことが伝わるように話し方を工夫しましょう。



① 相手や目的を意識しよう



⑩ 手紙を書こう

D_D

覚えておこう

① 常体と敬体

文末の表現をどち「一だ。」「一である。」「一だろう。」 → 常体
らかに統一する。「一です。」「一ます。」「一でしょう。」 → 敬体

② 敬語の使い分け

- ・ていねい語〔あまり親しくない人や大勢の人に対して話すとき〕
- ・尊敬語〔相手（目上の人や尊敬する人）を敬う気持ちを表すとき〕
- ・けんじょう語〔自分や身内の動作をけんそんして言うことで、その動作を受ける人（目上の人や尊敬する人）への敬意を表すとき〕

③ 話すときに工夫すること

- ・声の大きさを変える ・話す速さを変える ・声の強弱をつける
- ・言葉と言葉の「間」をとる ・表情、身ぶりなどを工夫する。



こんなときに役立ちます！

説明

報告

しょうかい
紹介

すいせん
推薦

感想

意見

手紙

どうろん
話し合い・討論

相手や場面に合わせて「言葉づかい」や「話し方」を工夫しましょう。

例えば…

○身のまわりで見つけた点字についてクラス全員の前で説明する。



(聞く人の方を見ながら話を始める)

みなさん、この容器を見てください。(容器を掲げる)

(間をとって注目させる)

容器の横に(指さしながら)小さな凹凸が並んでいます。

これから、この凹凸について説明します。まず、この凹凸が、なぜ付いているかということ、……

(聞く人の表情やメモをとる様子を見ながら、話す速さを変えるなど、話し方を工夫する)

……わたしは、こういうものがもっと増えるといいと思います。

(一番言いたいことは強く言う)

○場面に合わせて、敬語を使ってみよう。

(例) 「郵便物を、机の上に置いておきます。」(ていねい語)

「校長先生が、そうおっしゃった。」(尊敬語)

「明日、(自分が)ご自宅にうかがいます。」(けんじょう語)



- あらかじめ考えておいた話し方の工夫を取り入れるだけでなく、話し始めてから、聞く人の様子や反応に合わせて、話し方を工夫することも大切です。



言葉づかいや話し方を意識すると、自分の気持ちや考えを、わかりやすく伝えることができるね。

③ 情報を集めて関連づけよう

①-② 情報を集めて関係づけるとは…?

1 情報を集める

④資料を活用しよう

- ・話したり書いたりするときに、自分の考えの根拠となる資料や情報を集めます。
- ・本、パンフレット、新聞、インターネット、音声、映像、インタビュー、アンケートなどいろいろなものから情報は集められます。
- ・集めた情報はノートやカードにメモしましょう。

2 集めた情報を関係づける

- ・自分の考えに生かすために…
 - ①集めた情報を整理、分類する。
 - ②集めた情報をいろいろな視点で並べたり、つないだりしてみる。

何を話すために、何を
書くために情報を集める
のか、しっかり考えなが
ら集めようね。



D_D 覚えておこう〈関係づけるときのポイント〉

集めた情報を → 「仲間分けしてみる」「名前や見出しをつけてみる」
同じ意味 同じ種類 同じ視点 などで整理、分類する。

集めた情報を → 「順番を付けて並べてみる」「比べてみる」

集めた情報の → 「つながりがあることをまとめてみる」

根拠、理由 — 結果 の順 時間の順 関係が強いものどうし

違う種類、視点のグループどうし などで並べたりつなげたりする。

D_D 覚えておこう〈関係づけるときに使う方法〉

- ・目に見える形にして考える。

集めた情報を○や□で囲んで整理したり、— や⇒でつないで関係を表したりすると、頭の中の考えが目に見える形になって、それぞれの情報がどんなつながりを持っているのかわかりやすくなったり、新しい考えが生まれたりします。

⑥筋道を立てよう





こんなときに役立ちます！

資料の活用

説明

記録

報告

紹介しょうかい

推薦すいせん

感想

意見

話し合い・討論どうろん

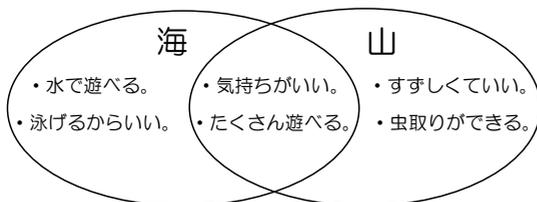
いろいろな場面で、「情報を集めて関係づける」ことを意識しましょう。

例えば…

○国語の討論会とうろんかいの学習で、本やパンフレット、アンケートなどから集めた情報をもとにして、意見を発表する。

討論会のテーマ 「夏休みに遊びに行くなら海がいいか、山がいいか」
パンフレットやアンケートなどから集めた情報を海のよさ、山のよさ、両方に共通していることに分けながらベン図にまとめてみると…

ベン図



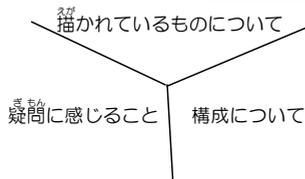
こうしてまとめてみると、海だけのよさ、山だけのよさがはっきりしてくるし、両方に共通しているよさがあることもわかってくるね。



○図工の時間に作品を鑑賞かんしょうし、作品についての感想文を書く。

絵を見て感じたことを書き出し、Yチャートワイチャートを使って3つの視点で整理してみると…

Yチャート



構成についての感想が少ないことがわかった。構成に着目してもう一度絵を見たら、もっとたくさんのが見つかって感想が豊かになったよ。



○社会科の学習で、地図やさし絵、グラフや年表、写真などから情報を集め、わかったことや自分の考えを説明する。

情報を集めて整理し、それをもとに話したり書いたりすると、考えが相手にわかりやすくなります。

④ 資料を活用しよう

?_?

資料を活用するとは…?

1 活用するってどうするの？

引用する : 他の人が作った図やグラフ, 話した言葉・書いた文章などを, 資料や本などからそのままの形でぬき出して使う。

自分で作る : 内容に合った図や表, 写真, 絵など, 自分で資料を作って使う。



③情報を集めて関連づけよう

2 活用するときに気をつけること



インターネットなどの普及で, 色々な資料がすぐ手に入るようになったね。でも, 他の人が書いた文などを, 自分が書いたかのように使ってしまうことが問題になっているよ。出所を明らかにして使うようにしようね。

D_D

覚えておこう 〈引用するときのポイント〉

引用した部分には「」をつける

ちよさくしゃ

著作者名

(書いた人の名前)を明らかにする

参考資料として出版社・発行年・題名・URLなどを書いておく

3 資料を活用すると・・・

具体的になる!

・形や数, 変化の様子などを具体的に示すことができます。

説得力が増す!

・考えのよりどころがはっきりします。

どんな資料を使えば, 自分の考えがうまく伝わるのかを考えて, 資料を選ぼう。



すじ かしら
⑥筋道を立てよう

!! こんなときに役立ちます!

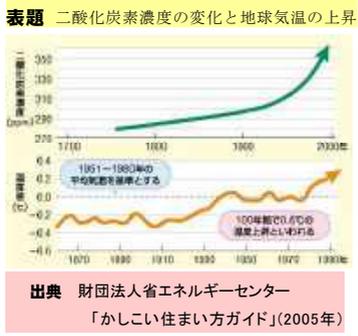
資料の活用 説明 記録 報告 紹介

推薦 感想 意見 話し合い・討論

資料を効果的に活用しましょう。

○総合的な学習の時間で「地球の環境」について調べたことや考えたことを発表する。(表やグラフの引用)

二酸化炭素の濃度が上がると、気温も上昇しています。このことから、温暖化には、二酸化炭素のはい出量が大きく関わっていることがわかりました。



これは「二酸化炭素濃度の変化と地球気温の上昇」を表したグラフです。
左のグラフを見て下さい。

地球温暖化について



○国語で意見文を書く。(資料の文章の引用)

これを読んで、今ある山梨県の自然のすばらしさを受けつぎ、未来につないでいくことが、人口減少問題の解決の一つの糸口になるのではないかと考えた。つまり…

「…環境問題が深刻になってきている今、東京都を中心とした首都圏に接している山梨県の森は、首都圏全体の財産になっています。豊かな森は、同時にわたしたちに豊かな水環境をもたらしてくれれます。山梨県が水道水の60%以上を、地下水にたよることができるのも、豊かな森のおかげです。」

…山梨県は人口の減少が続いて、大きな問題になっている。しかし先日のニュースで都会から移り住みたい県の第一位が山梨県であると聞いた。そして、社会の時間で読んだ「ふるさと山梨」の中に次のような文章があったの思い出しあらためて読み直した。

私たちのふるさと山梨



○国語で伝記を紹介する。(偉人の言葉の引用)

一九七九年、マザー・テレサはノーベル平和賞を受賞しました。授賞式にいつものサンダルばきで出席したテレサは、スピーチの中で、
「わたしは、世界の最も貧しい人々に代わって賞を受けました。晩さんの費用は、貧しい人々のためにお使いください。」
と、言ったそうです。それを聞いてわたしは、…



○社会で日本の食料事情について調べ発表する。(自分で作った資料を使う)



調べました。この図から分かるように、日本では、米のほとんどを自給していますが、大豆は、ほとんどを輸入にたよっています。他の食物でも…



⑤ 順序立てよう

??

順序立てるとは…?

1 「順序」には、次のようなものがあります。

- 行動したこと、経験したことの順序
- 物を作ったり、作業したりする順序
- 物事が起こった順序
- 説明したり、紹介したりする順序

2 どういう順序で並べるの？

- 時間にそって並べます。

自分が行動したり、経験したりした順、出来事が起こった順などに注意しながら話したり、書いたりするんだよ。



- 事柄にそって並べます。

作り方や作業の内容を説明するとき、材料や道具といった必要な物、手順や使い方、注意することなどの事柄に分けて説明するとわかりやすいよ。



- 並べるときは…

順序立てて並べると、自分の伝えたいことが、より明確になります。また、整理されることで、相手の頭の中にもすんなり入っていきます。

より明確でわかりやすい内容にするためには、「はじめ—中—おわり」などを参考に、内容のまとまりを、いくつかに分けて並べることがポイントです。



⑥ 筋道を立てよう

⑦ 段落の役割や関係を意識しよう

D_D 覚えておこう

〈順序を表すときに使う言葉〉

最後に
ついに
それから
次に
はじめて

第三に
第二に
第一に

D_D 覚えておこう

〈基本の構成〉

おわり
まとめや結論、自分の
考えや感想など

中
説明や報告などの内容

はじめ
何についてのことか



こんなときに役立ちます！

説明

記録

報告

しょう かい
紹介

すい せん
推薦

意見

いろいろな場面で、「順序立てる」ことを意識しましょう。

例えば…

○たてわり活動で取り組む「遊び」の説明をする。(同じ班の1～5年生に)

おわり
最後は、質問はありますか。それでは、始めましょう。

中
それでは、ルールを説明します。
まず、六年生がおにになるので、他の人は逃げてください。
次に、追いかける時間は、一分間です。時間内にタッチされたら、その場に座ってください。最後まで逃げ切った人の勝ちです。
それから、白いラインの外側に出たら、負けですから、気を付けてください。

はじめ
これから、たてわり遊びをします。今日はおにごっこをします。みんなで仲良く遊びましょう。



○児童総会で、活動方針を説明する。(全校児童に)

おわり
これら三つの方針をもとに、今年度のテーマを実現したいと思います。みなさんの意見を聞かせてください。よろしくお願ひします。

中
一つ目は、「あいさつ運動」です。なぜ、「あいさつ」かというところ…
二つ目は、「仲間づくり」です。最近、新聞やニュースで、いじめのことが…
三つ目は、「環境づくり」です。私たちにできる身近な活動は…。それが地球を守り、未来を大切にするにつながります。

はじめ
これから、児童会のテーマ「明るく元気な〇〇小」を支える三つの具体的な活動方針を発表します。



○理科の「実験や観察の記録・結果」を書く。(他の班の人に)

○クラブ紹介で、1年間の様子を紹介する。(3年生以下の人に)

順序立てるときは、どうしたら相手にわかりやすいか、相手の心に響くかを考えて、並べます。何をどういう順序で並べると、より効果的なまとめや順序になるかを考えましょう。

ザ・読解力にチャレンジ

小5版国語 ことばの研究レポートを書こう

しりとり遊びに勝つ方法をどんな順序で書けばいいだろうか。

小4版国語 新聞を読み、スピーチ原稿を書こう

わかりやすいスピーチをするには、どんな順序で話したらいいだろうか。

小4版理科 水を熱したときの温度変化と、水の様子の変化を調べよう 水のあたたまり方について調べよう

時間に沿って、表やグラフにまとめることで何がわかるだろう。

⑥ 筋道を立てよう

?_?

筋道を立てるとは…?

1 筋道を立てる

- ・情報を整理・分析し、考えの根拠や理由を示していくこと。
- ・根拠や理由をもとに順序立てていくこと。



③情報を集めて関連づけよう



⑥順序立てよう

2 どうすれば筋道を立てることができるの?

- ・わかっていることから、どんなことがいえるか考える。
- ・どんなきまりがあるか考える。
- ・これまで学習してきたことが、使えるかどうか考える。
- ・同じところ、ちがうところを見つけて考える。

D_D

覚えておこう <考えと根拠・理由の関係>

パターン A

① 自分の考え（結論）

<筋道を立てるときに使う言葉>
その理由は、例えば、

② 自分の考え（結論）の 根拠や理由を説明する。

文章、図、数値、表、
グラフ…など

④資料を活用しよう

③自分の考え（結論）

- ・すぐ結論を伝えたい場合は①②。
- ・意見文など説明が長いときには①②③。

パターン B

① 自分の考え（結論）の 根拠や理由を説明する。

文章、図、数値、表、
グラフ…など

④資料を活用しよう

<筋道を立てるときに使う言葉>
このように、このことから
わかったことをまとめると

②自分の考え（結論）

- ・最後までじっくり聞いてもらったり、読んでもらったりする時に使ってみよう。





こんなときに役立ちます！

説明

報告

意見

話し合い・とうろん討論

いろいろな場面で、「すじみち筋道を立てる」ことを意識しましょう。

例えば…

○算数の学習で、表から読み取ったことを説明する。 **パターンA**

面積が 24 cm^2 の長方形で、たて縦の長さ^{たて}とそれに対応する横の長さを求めてみましょう。

縦の長さ X(cm)	1	2	3	4	5	6
横の長さ Y(cm)	24	12	8			

たて縦の長さが 4 cm のとき、横の長さは 0 cm になります。その理由は、たて縦の長さが 2 倍・ 3 倍になると横の長さは・・・になるので、・・・。

- ・情報の中から、きまりをみつけて考える。



○理科の学習で、実験からわかったことを説明する。

パターンB



青色リトマス紙が、赤色に変わる物は酸性であると学習しました。〇〇を青色リトマス紙につけたら赤色に変わりました。このことから、〇〇は酸性であるということがわかりました。

- ・わかっていることからどんなことが言えるかを考える。

ほかにも

○国語の学習で、意見文を書く。

○学級会で自分の考えを話す。

どんな方法が、効果的か考えて使っていこう。



「ザ・読解力」にチャレンジ

小5版国語 筆者があげている事実にこめられた意味を考えてみよう！

小4版理科 水のあたたまり方について調べよう

文章・図・絵・グラフなどから、読み取れることは何だろうか。

⑦ 段落の役割や関係を意識しよう

?_?

段落の役割とは…?

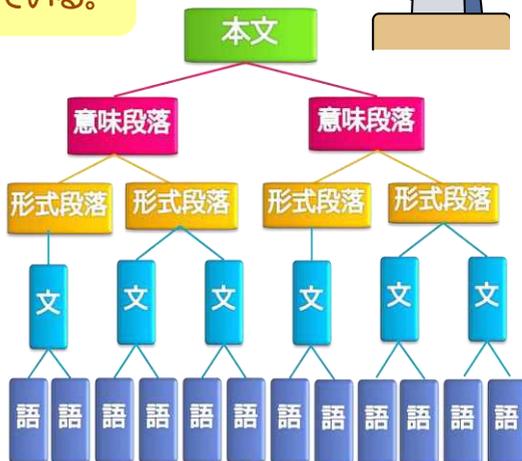
1 段落とは

- 文章を組み立てているひとまとまり。
- いくつかの文が集まってできている。



2 段落の種類

- 意味段落（大段落）
→ 内容上のまとまりによって設定される段落のこと。
- 形式段落（小段落）
→ 改行と1文字の字下げによって示される段落のこと。



3 段落のつながりを考えるときは…

- 段落と段落や、文と文とをつなぐ役割を果たしているのが、「**つなぎ言葉（接続語）**」です。
- つなぎ言葉は、前の段落（文）の内容と後ろの段落（文）の内容のつながり方をはっきりさせたり、話し手や書き手の気持ちを表したりします。

【例文】

- 雨が降りそうだ。だから、かさを持って行く。
- 洋服を買いに出かけた。しかし、気に入ったものは見つからなかった。
- 日曜日は、公園に行きますか。それとも、デパートに行きますか。
- 今年も決勝戦で負けてしまった。つまり、二年連続で二位ということだ。



こんなときに役立ちます！

説明

記録

報告

しょうかい 紹介

すいせん 推薦

感想

意見

○説明的な文章や意見を伝える文章を読んだら、書きたいするために覚えておきましょう。

D・D 覚えておこう〈説明的な文章や意見文の構成の型〉

- ① 頭括型… 結論・主張 ⇒ 具体例や理由・説明
- ② 尾括型… 具体例や理由・説明 ⇒ 結論・主張
- ③ 双括型… 結論・主張 ⇒ 具体例や理由・説明 ⇒ 結論・主張



D・D 覚えておこう〈いろいろな関係を表すつなぎ言葉〉

	つなぎ方	代表的なもの
①	前の文を原因・理由とする結果を表す（順接・因果）	「だから」「それで」「ゆえに」「そこで」「すると」「よって」「したがって」
②	前の文と対立する内容か、反対の概念を表す（逆説）	「だが」「しかし」「けれども」「だけど」「ところが」「とはいえ」「それでも」
③	前の文と同列のことを挙げたり、付け加えたりする（並列・付加）	「そして」「それから」「また」「しかも」「その上」「さらに」「および」
④	前の文を言い換えたり、理由を説明したりする（補足・理由説明）	「つまり」「すなわち」「なぜなら」「要するに」「たとえば」「ちなみに」
⑤	前の文と比べたり、どちらかを選んだりする（対比・選択）	「または」「あるいは」「それとも」「むしろ」「いっぽう」「もしくは」
⑥	前の文と話題を変える（転換）	「さて」「ところで」「では」「それでは」「次に」「ときに」



⑤順序立てよう



すじみち

⑥筋道を立てよう

「ザ・読解力」にチャレンジ

小4 版国語 筆者の工夫について自分の考えを書こう

小5 版国語 納得できる説明の仕方を考える

自分の考えをまとめていく練習をしてみよう！



⑧ 自分の知識や経験と結び付けよう

?_? 自分の知識や経験と結び付けるとは…?

1 自分の知識と結び付けて考えよう

今まで学習したり、本で読んだりして得た知識を、本や文章の内容と結び付けて考えてみよう。

- 物語の登場人物どうしの関係や心情を、より深くとらえることができます。
- 筆者の伝えたいことを、よりの確にとらえることができます。
- 自分の考えや感想が、より広く、より深くなります。
- 自分の考えや感想を、よりはっきりと、より具体的にまとめることができます。
- 新しい考えや発想が生まれます。

2 自分の経験と結び付けて考えよう

今までの自分の経験（読書などによる間接体験もふくむ）を本や文章の内容と結び付けて考えてみよう。

D_D 覚えておこう

① 直接体験

五感（目・耳・鼻・舌・手）を使って、実際に実際にかかわること。
※あざやかな夕日を見る／はげしい雨の音がする／こぼれパンの香りがする／おいしいカレーを食べる／ふわふわの毛布で眠る など

② 間接体験

本やテレビ、インターネット、人が話したことなどを通じて、見聞きしたり感じたりすること。
※本を読んだり映画を見たりして、本や映画の中の世界を主人公の気持ちに共感する／写真や動画を見て風景を想像する など

知識や経験と結び付けると、



自分の考えを 確かなものにできるね。

相手も 似た経験をしていると、話や考えがより伝わりやすいよ。





こんなときに役立ちます！

しょう かい
紹介

すい せん
推薦

感想

意見

とう ろん
話し合い・討論

いろいろな場面で、知識や経験と結び付けてみましょう。

自分の意見や主張を相手に伝えたいとき、関連がありそうな知識と結び付けたり、よく似た経験を思い出して文章や意見に添えたりしてみましょう。よりわかりやすく説得力のあるものになります。

例えば…

○ メモを取りながら読もう。

◎ 賛成する気持ち

△ 別の考え方

② 疑問に思うこと など

記号を決めて自分の考えと一緒に残しておきましょう。

◎この気持ち、すごくわかる。
私も友だちから同じようなことを言われたことがある。

△どうして、そんなことをしたのだろう。私だったら、先生の言葉を思い出して…

○ 登場人物の言動を追い、心情を考えよう。



主人公は、口ではこうしているけれど、心の中では後悔していると思う。私も、母とケンカしたときに自分の気持ちを素直に言うことができなくて・・・

・主人公でなく、ほかの人物の視点で読みかえれば、今までと違う立場から主人公を見つめることもできます。

「ザ・読解力」にチャレンジ

小4 版社会 ごみの量とわたしたちの生活を考えよう

小4 版理科 天気による気温のちがいについて調べよう

事実や観察結果をもとに自分の考えをまとめる時、自分の経験と結び付けることによって自分たちの課題として考えが深まります。

⑨ 話し手の意図をとらえて聞こう

?_? 話し手の意図をとらえて聞くとは…?

1 話し手の意図をとらえる

- 話の目的は何か。
- 自分に伝えたいこと何か。
- 自分といっしょに考えたいことは何か。
などに関心をもって、意識して聞く。

話の中心や大事な事がらを、とらえやすくなります!

2 どのように聞けばいいの?

- 自分の立場(肯定や否定, 賛成や反対など)や自分の考えと比べながら聞こう。
- 自分の経験と結び付けながら聞こう。

 ④自分の知識や経験と結び付けよう

- 話し手がなぜそう考えるのか、理由や事実に注意して聞こう。
- わかったことや納得したことはメモしよう。
- わからないことや疑問に思ったことはメモしよう。
- 話している事がらの順序など、話の組み立てに気をつけて聞こう。

自分との共通点(同じところ, 似たところ)や相違点(違うところ)を整理することで、意見や感想が深まります!

あとで必ず質問しよう!

話の方向性や中心をとらえやすくなります!

 ⑤順序立てよう

 ⑥筋道を立てよう

D_D 覚えておこう<接続語や文末表現に着目しよう>

どんな意見なのか、接続語や文末表現に着目して聞くと分かりやすいです。

- ①話し手の立場をとらえる。 「～に賛成(反対)です。」
- ②考えの根拠・理由をとらえる。 「その理由は～」 「なぜなら～」 「～だからです。」
- ③考えのまとめや結論をとらえる。 「つまり～」 「要するに～」 「このように～」

話し手がどんな立場で、どんな目的で発言するのか、最後まで聞くことが大事だね。





こんなときに役立ちます！

感想

意見

話し合い・討論



⑩立場や意図をはっきりさせて話し合おう

いろいろな場面で、

「話し手の意図をとらえて聞くこと」を意識しましょう。

例えば…

- ・児童総会で意見を交換するとき。
- ・学級会で話し合っ、クラスの目標を決めるとき。
- ・国語の読書座談会で友達の感想や考えを聞くとき。
- ・各教科で考え方を発表し合ったり、答えを導いたりするとき。

実際の場面では、話し手の方に顔を向けるようにしたり、メモしたり、うなずくなど反応したりすることで、「話し手の意図をとらえて聞く」意識が高まります。

○児童会で、話し手の意図を理解しながら討論を進める。

- ・町の環境を良くするために、アルミ缶回収を積極的に進めたいという提案について討論する。



全校のみんなに放送で呼びかけたり、ポスターをはったりしてお知らせをするのはどうでしょうか。おたよりに出すのもいいと思います。そうすれば、全校のみんなや家の人がよくわかって、協力してくれると思うからです。

積極的に回収を進めるためには、全校のみんなに協力してもらえるように、わかりやすく伝える方法を考えるということですね。

そのときに、何のために回収するのかということも、しっかり理解してもらおうことが大切です。



「ザ・読解力」にチャレンジ

小5版社会 工業のさかんな所について調べ、考えを発表しよう。
友達の意見を自分と比べたり、関連づけて聞くことで、話し合いを深めたり、広げたりすることができるようになります。

⑩ 立場や意図をはっきりさせて話し合おう

?? 立場や意図をはっきりさせて話し合うとは…?

1 話し合い

協議：グループや学級全体の共通のテーマについて、また問題解決に向けて、おたがいの知識や考え、意見などを出し合い一つにまとめていく話し合い。

討論：おたがいの考えの違いを大事にしながらかく多くの考えを関係づけていく話し合い。

2 話し合うときのポイント

- ①おたがいの話を集中して聞くことが大事！
- ②目的や話題に沿って話し合おう！
- ③おたがいの考えの共通点（同じところ、似ているところ）や相違点（違うところ）を整理しながら話し合おう！
- ④司会者や提案者などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合おう！
- ⑤おたがいの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合おう！

考えが違う場合は、なぜ違うのかということにも注意しよう！

賛成なのか反対なのか、自分はどのような立場で意見を言うのかをはっきりさせよう！

決められた時間内にまとめられるようにしましょう！



⑨話し手の意図をとらえて聞こう

D_D

覚えておこう 〈司会者や提案者の役割〉

司会者：目的や話題に沿って話し合いが進むように、提案者や参加者が積極的に発言するよう働きかけたり、発言を整理したり、まとめたりする。→常に、話し合いの目的や話題を意識する！

提案者：話し合いに参加しているみんなに考えが伝わるように、話す内容を整理したり、話し方を工夫したりして提案する。

参加者：話し合いの目的や話題に沿って積極的に発言する。

自分の考えも友達の考えも大切にしよう。



!!

こんなときに役立ちます！

感想

意見

質問

話し合い・とうろん討論

いろいろな場面で活用しよう。



意見を言うときは…

- * 答える 「～は～です。」「～考えてみると…。」
- * 賛成する 「〇〇さんが言った『△△』という意見に賛成です。わたし私も～からです。」
- * つけたす 「〇〇さんの意見につけたしで、～と思います。
「〇〇さんの意見に関連して、～という事もあります。」
- * 似ているが… 「〇〇さんと～については同じ考えですが、～がちがいます。」
- * 反対する 「〇〇さんの『△△』という意見とちがって、私は～と
わたし思います。理由は～からです。」
根拠をはっきりさせることが大事！
- * 質問 「〇〇さんの発言の『△△』とはどういうことですか？
「～が分からないので、くわしく説明してください。」
- * 考えを変える 「～の意見を聞いて、自分の意見を変えます。理由は、～からです。」
- * まとめる 「まとめると（つまり・整理すると）～ということになると思います。」

○意見を言うときには、相手の発言の内容を引用するとよいです。
引用した言葉が自分の質問や意見の根拠になるからです。



④資料を活用しよう ⑥筋道を立てよう

司会者・議長は…

- * 目的や話題からそれない
ように 「～について話し合います。」
「～の順序で話し合っていきます。」
「～について質問がありますか。」
「～について意見を出してください。」
- * 話し合いを整理する 「今までの意見を整理すると、『□□…』という意見と『△△…』という意見にまとめられます。他に意見はありますか。」
- * 話し合いが止まったら 「隣の人と～分間、話し合ってみて…」
- * 決めるとき 「賛成（反対）意見が多いようです。～でいいですか。」

⑪ 手紙を書こう

？？

上手に手紙を書くには…？

1 手紙とは？

- ・自分の用件や気持ちを文章で相手に伝えるもの
- ・手紙の種類には、お礼、お知らせ、おさそい、お祝い、お願い、おわび、質問、お見舞い、案内などがある。

2 手紙の書き方

- ・手紙は大きく分けて、
① 〈はじめのあいさつ〉 ② 〈本文〉
③ 〈むすびのあいさつ〉 ④ 〈後付け〉
に分かれ、書く位置が決まっています。

手紙を書くときのポイント

だれに伝えるのか

下級生、家族、友達、目上の人、知らない人など、だれに伝えるのかをはっきりさせましょう。

① 相手や目的を意識しよう

どんな言葉づかいにしたらよいか

常体（～だ。～である。）、敬体（～です。～ます。）のどちらを使うのがよいか考えましょう。

② 言葉づかいや話し方を意識しよう

字のまちがいや、ぬけている字がないか

書き終わったら、読み返してみよう。

③ 推敲しよう

どんなことを伝えるのか

一番伝えたいことは何なのか、大事なことを落とさず書きましょう。

D_D 覚えておこう 〈こんな季節の言葉があります〉

春→「桜の花が美しく咲いています」「春の日差しが心地よく感じられます」

夏→「梅雨も明け、夏本番になりました」「毎日、暑い日が続いています」

秋→「さわやかな季節になりました」「虫の音が聞こえるころになりました」

冬→「毎日、寒い日が続いています」「木枯らしが吹く季節になりました」



こんなときに役立ちます！

- 手紙
- 報告
- 感想
- 質問

いろいろな場面で、「手紙」を書きましょう。

例えば…

○社会科見学でお世話になった方へ（お礼の手紙）

①毎日、暑い日が続いていますがお元氣ですか。先日、社会科見学でお世話になった山梨卓太です。

②この前は、山梨県の歴史について教えてくださったり、質問に答えてくださったりして、本当にありがとうございました。縄文時代から近代までのことを知ることができて、とても勉強になりました。私は特に「釈迦堂遺跡」と「富士川舟運」のことに関心を持ち、もっとくわしく調べたいと思います。

③これからもお体に気をつけて、お仕事がんばってください。さようなら。

④七月十日

甲府太郎様

山梨卓太

①はじめのあいさつ

- ・季節の言葉
- ・自己紹介

②本文

- ・手紙の用件
- ・伝えたいこと

※目的に合わせて、分かりやすく書くことが大切です！

③おまじないのあいさつ

- ・相手を気遣う言葉
- ・別れのあいさつ

④後付け

- ・日付
- ・自分の名前（下に）
- ・相手の名前（上）

ほかにも…

- 社会科の学習などで、知りたいことを聞くために（質問の手紙）
- 地域の高齢者に敬老の気持ちを表すために（お祝いの手紙）
- 保護者に授業参観に来てもらうために（おさそいの手紙） など

⑫ 推敲しよう

?_?

推敲するとは…?

1 推敲とは？

一度書いた文章をよりよくするために、修正したり、形式や表現を整えたりすること。

2 どうやって推敲するの？

自分で書いた文章を、次のようなことに気をつけて読み直します。

D_D 覚えておこう 〈推敲の観点〉

- ・主語と述語の関係，修飾語と被修飾語の関係は正しいか。
- ・漢字，かなづかい，送りがなにまちがいはないか。
- ・「、（読点）」や「。（句点）」を正しく使っているか。
- ・文末表現は常体と敬体のどちらかに統一されているか。
- ・相手や目的に合った文章か。  ①相手や目的を意識しよう
- ・順序立てて書き，読む人にわかりやすい表現になっているか。
 ⑤順序立てよう
- ・事実と感想，意見とを分けて書いているか。  ⑥筋道を立てよう
- ・自分の感想や意見が明確に表されているか。
- ・段落と段落のつながりは適切か。  ⑦段落の役割や関係を意識しよう

推敲すると



相手が読んでわかりやすくなるね！

書いたものは、必ず読み返し、推敲しよう。

友達どうして書いたものを交流して、助言し合うと、自分では気づかなかったことに気づくことがあるね。





こんなときに役立ちます！

説明

記録

報告

しょうかい
紹介

すいせん
推薦

感想

意見

手紙

いろいろな場面で、「^{すいこう}推敲」しましょう。

^{すいこう}推敲は、さまざまな学習場面や^{ふだん}普段の生活の中で必要です。

例えば…

○総合的な学習の時間に作る「町のよさを^{しょうかい}紹介するパンフレット」を^{すいこう}推敲してみよう。

・相手や目的を考えて、効果的に伝えるために



- ・漢字や言葉づかいにまちがいはないかな。
- ・目的に合わせて、相手の知りたい情報を選んで書いているかな。
- ・「観光」「特産品」「歴史」など項目ごとにまとめて、読む人にわかりやすく書いているかな。
- ・町のよさを表す資料や写真、^{すうじ}数値などを用いながら、具体的に書いているかな。

読み手を引きつけるために、どのような工夫ができるだろうか？

○お礼の手紙を書く。（お世話になった^{ちういき}地域の方に）

○図書委員会でおすすめの本を^{しょうかい}紹介する文を書く。（全校児童に）

○調べたことを学級新聞に書く。（クラスの友達に、家族に）

「ザ・読解力」にチャレンジ

小5版国語 言葉の研究レポートを書こう！

小5版国語 「新聞記事」を読んで、ごみ問題を考えよう！

書いた文章を^{すいこう}推敲してより分かりやすい構成や表現にしよう。

平成26年度 読解力向上のための言語活動推進協議会

委員名簿

委員長	岩永 正史	山梨大学教育人間科学部教授
委員	宇野 誠	大月市立猿橋中学校校長
	名取 広行	南アルプス市立櫛形北小学校教頭
	伊藤 裕美子	甲府市立相川小学校教諭
	砂長 完郎	甲府市立池田小学校教諭
	村松 勢津子	甲府市立大國小学校教諭
	武田 真弓	甲斐市立敷島小学校教諭
	高瀬 有治	韮崎市立韮崎小学校教諭
	廣瀬 剛	山梨市立日下部小学校教諭
	石原 直哉	笛吹市立富士見小学校教諭
	山下 忍	笛吹市立境川小学校教諭
	渡邊 智恵子	市川三郷町立六郷小学校教諭
	片田 しのぶ	南部町立睦合小学校教諭
	渡邊 茜	富士吉田市立吉田小学校教諭
	渡辺 香織	大月市立鳥沢小学校教諭

事務局

嶋崎 修	義務教育課義務教育指導監
重田 誠	義務教育課指導主事
望月 陵	義務教育課指導主事

※所属名・役職名などは、平成27年3月現在のものです。

言語活動ハンドブック

平成27年3月発行

山梨県教育委員会

所在地 〒400-8504 甲府市丸の内一丁目6番1号

電話 義務教育課 055-223-1764・1765

FAX 義務教育課 055-223-1759

E-mail gimukyo@pref.yamanashi.lg.jp

無断転載を禁止します。

